

日時 2019年6月8日 (土) 13:00~16:30 (12:30受付開始)

6月9日 (日) 11:30~16:15 (11:00受付開始)

会場 **成安造形大学** 聚英館3階 聚英ホール (滋賀県大津市仰木の里東4-3-1) 
JR湖西線おごと温泉駅よりバス

参加費 会員・賛助会員 1,000円、学生会員500円
非会員・団体購読会員 2,000円、学生1,000円

参加申込 学会サイトの申込フォームから、お申し込みください。
2019年6月3日 (月) 締切

<http://www.jads.org> 



シンポジウムテーマ

アート・ドキュメンテーションとデータベース との関係を探る — 知の蓄積と共有化のために

本シンポジウムは、広い意味でのアート・文化にまつわる近年のデータベースの構築・発信の現状と展望をもとに、アート・ドキュメンテーションのあり方を考える機会といたします。

ここでのデータベースにおいては、作品・資料に関する目録のデータ(メタデータ)のみならず、作品・資料そのものを画像データとしたもの、また文献資料であればその本文をテキストデータ化したものが整備され、検索の対象となります。音声・動画などの視聴覚資料についても、メタデータだけでなく、資料の複製たるデータがデータベースを通じて視聴可能な場合があります。さらに、これらのデータやデータベースはウェブ発信が促進されているのに加え、ウェブ上で公開されたデータベースどうしの連携も盛んとなっています。日本では、上記のような多種多様かつ膨大なデータを横断検索するポータルサイト「ジャパンサーチ」の試験版が、2019年2月より一般公開され、注目を集めています。

しかしながら、個々の作品・資料やコレクションについて、どのような要素に対し、また、どのような用途を意識して、記録化・情報化=ドキュメンテーションを行い、それをデータベースに反映させるべきか、改めて考える必要があるのではないのでしょうか。アート・ドキュメンテーションの観点からは、アート・文化をめぐる知の蓄積と共有化、あるいは、より深い研究と実務に堪えるレベルでのデータベースの構築と発信を、ひとつの方向性として据える必要があるものと考えます。

このような趣旨のもと、本シンポジウムでは、関西を拠点とした(あるいは関西を拠点に含む)データベースの構築と発信の取り組みを提示し、皆様との議論につなげることを目指します。多くの方々のご参加をお待ちしております。



J A

Japan Art Doc

2019年度年次大会

大会プログラム概要

【第1日】6月8日（土）

□シンポジウム 13:00~15:50

アート・ドキュメンテーションとデータベースとの関係を探る ― 知の蓄積と共有化のために

[講演1] 赤間亮（立命館大学アート・リサーチセンター 副センター長）
知の蓄積を加速させる外部データベースの育成

[講演2] 植松由佳（国立国際美術館 情報資料室長・主任研究員）
コレクション情報の公開 ― 国立国際美術館の事例（仮題）

[講演3] 古川綾子（国際日本文化研究センター 助教）
国際日本文化研究センターの浪曲SPレコード・デジタルアーカイブ（2020年度公開予定）について

[パネル討議・質疑応答]

□第13回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞・推進賞授賞式 16:00~16:30

□懇親会 17:00~19:00

会場：成安造形大学キャンパス内 カフェテリア「結」
参加費：5,000円程度（予定）

【第2日】6月9日（日）

□第30回学会総会（会員限定） 11:30~13:00

□研究発表会 14:00~16:15

[発表1] 筒井 弥生（アーキビスト）
アメリカ・アーキビスト協会ミュージアム・アーカイブズ・セクションの活動

[発表2] 古賀 崇（天理大学）
「フェイク」の時代におけるアート／ミュージアム・ドキュメンテーションの倫理のあり方と、その実践に関する一考察 ― 「ロンドン憲章：文化遺産のコンピュータ・ビジュアライゼーションのために」を出発点として

[発表3] 丸川 雄三（国立民族学博物館）
文化財デジタルアーカイブズの活用を目的としたメタデータ自動付与の研究 ― 文化遺産オンラインにおける過去の取り組みを例に

[発表4] 山路 正憲（立命館大学）、岡田 崇（凸版印刷株式会社）、岡 敏生（同）、秋元良仁（同）、大澤 留次郎（同）、赤間亮（立命館大学）
古典籍デジタルアーカイブの活用を促進するディープラーニング型くずし字翻刻支援システムと指導システム

※ 本大会は会員・非会員を問わずどなたでも参加できます。ただし2日目の学会総会は会員限定です。
※ 当日の入会申込により会員料金で参加可能です。会員向けに年会費納入の窓口も設置します。
※ 近隣の宿の確保が困難な場合がありますので、参加をご予定の皆様には、お早目の宿の確保をお願いいたします。
※ 日曜日はキャンパス内の食堂の営業はございませんので、各自で弁当等をご用意ください。